

保健管理センター

ニュースレター

2024年冬号

I. 感染症情報

1. 予防

手洗いが予防に有効です。また、咳やくしゃみが出るときは、自主的にマスクをして、他にうつさないように気をつけましょう。

簡単に人から人に感染するので、感染源にならないようにしましょう。発熱やひどい咳があったら、登校しないでください。解熱剤を服用して熱が下がった場合は、自然経過ではまだ発熱があるということですから、登校しないでください。

2. 流行中・これから流行する感染症

1) インフルエンザ

インフルエンザは冬に流行しやすい感染症で、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、体のだるさ、喉の痛みなどの症状が出ます。ワクチンを接種しておくことで軽症で済みます。また、集団の中で免疫機能が弱い人を感染から守る、集団免疫という効果も期待できます。

2) マイコプラズマ肺炎

今年はマイコプラズマによる感染症が流行しています。軽症で住むことも多いですが、肺炎を起こすこともあり、痰を伴わない咳が長く続きます。潜伏期間が2-3週間と長いのが特徴で、このため感染しているとわからない人から感染し、感染しているとわからないうちに他の人にうつしてしまいます。

3) COVID-19

相変わらず感染が広がっています。現在流行しているタイプは、基礎疾患のない人や若い人は重症化しにくいですが、重症化しやすい人が近くにいる場合は気をつけてください。

3. かかったかもしれないと思ったら

上記が疑われる症状がある場合は、学外の医療機関を受診して診断を受けてください。保健管理センターでは確定診断ができません。診断の結果に基づき、必要な日数の自宅療養を行って、それが過ぎてから登校してください。

II. HPVワクチン

2025年3月まででキャッチアップ接種は終了予定でしたが、3月までに1回でも接種した人に対しては、3回目まで公費による助成が延長される見込みです。間に合わなかった人、諦めずに情報収集してください。保健管理センターでは質問・相談を引き続き受けています。

